

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	越前市児童発達支援センターなないろ 専門支援教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日		令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日		令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応のため、1人ひとりに合わせたプログラムを設定することができる。	療育開始の前に体験利用を行い、より深くお子さんの特性を捉えてから実際の支援を行っている。	お子さんの特性をより深く捉えるために評価、アセスメントをしっかりと行い、お子さん自身が楽しみながらさまざまなスキルが伸びるように支援を組み立てていく。
2	親子通所のため、保護者とお子さんの特性や支援のねらい、内容を共有することができる。	保護者に積極的に療育に参加してもらうことにより、具体的にお子さんとの関わり方を伝えている。	面談の機会等を設けながら保護者とのコミュニケーションを密にし、ニーズを細やかに拾い上げ、共有しながら療育を進められるようにする。
3	多職種で連携することにより、多面的にお子さんの特性を捉えて支援に反映できる。	事例検討を通して様々な専門職の職員が意見する場を設け、支援内容に反映している。	内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行い、専門職の知識をより深められるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育のため、集団の場への介入が難しいケースがある	個別療育では子ども同士の関わりがないため、他者の気持ちを考える力が育ちにくいと感じる。	個別療育では子どもの特性をしっかりと把握し、それを解決するための構造化を考える。それをどう集団の場で活かせるかを、関係機関と一緒に考えていく。
2	親子通所のため、保護者の就労や都合に負担をかけてしまう	なないろでは、「保護者のわが子への理解力、養育力の向上」を目的に親子通所をお願いしているが、就労や家族の都合等のさまざまな理由でそれがむずかしい家庭もある。	出来る限り無理なく療育に通っていただけるよう、振替日の設定や代理による療育の実施を行っている。
3	療育の効果がどれほど表れているかが見えにくい	「以前に比べてよくなった」という感覚的な指標で療育の効果を図っている場面がある。その効果をまとめたものは個別支援計画のみである。	個別支援計画の作成、定期的な『子育てファイルふくいっ子基礎調査票』の実施に加え、ABAや氷山モデルで対応するケースは介入前に記録を取り、期限を決めながら関わり、その効果を定期的に判定できるよう整えていく。

公表 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 越前市児童発達支援センターなないろ 専門支援教室

公表日 令和8年3月18日

利用児童数 53 回収数 32

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	3	0	1		・法に基づいたスペースの確保、職員数の配置を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	4	0	1		・3つの療育エリアとプレイルームがあり、一人ひとりに合わせて構造化を行うなど、お子さんの特性に応じた環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	3	0	1	・いつも息子に寄り添った支援をさせていただいています。	・療育の担当者が、それぞれのお子さんの特性や本人、保護者のニーズに合わせて個別支援計画を作成し、それに基づいた療育を実施しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	4	0	1		・支援プログラムはなないろホームページにて閲覧できます。ぜひご覧ください。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	3	0	1		・児童発達支援ガイドラインに基づき、個別支援計画を作成しています。個別支援計画において、「本人支援」「家族支援」「地域連携」の記載がありますので、一度ご確認ください。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	2	0	3		・個別療育においての活動プログラムは、一人ひとりの状況に応じて変動させたり固定させたりしています。好きな活動やキャラクターを取り入れるなど、楽しんで取り組めるような工夫も実施しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	3	0	1		・園や地域との交流は実施していません。療育中にプレイルームで他のお子さんとの関わりがあります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	3	2	2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	6	1	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	2	0	1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	1		・運営規定、利用者負担等については契約時にご説明させていただいています。支援プログラムにつきましては、ホームページには記載していますが、説明はしていませんでした。今後は丁寧に説明させていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	6	2	1		・個別支援計画は、更新の度に説明させていただいています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	4	2	0		・家族支援について、現在のこと、先のこと保護者の方の思いに寄り添いながら対応させていただきます。どのような悩みや不安でも、お気軽にお申し付けいただけたら幸いです。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	6	2	0		・2か月に1回のペースで、土曜日の午前中に『なないろカフェ』を開催しております。告知が分かりにくいとの声もあったので、開催日前に周知できる仕組みづくりを進めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	3	2	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	5	3	8	・参加はなかなかできないですが、お誘いいただいています。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	0	3	・園のことも相談にのっていただいて ・園と私たちの間に入って下さって色々ご意見して下さいのがとてもありがたいです。	・情報発信は専門支援教室の玄関に加え、ホームページやInstagramでも発信しています。ぜひご覧ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2	0	0		・個人情報は連携を承諾いただいた機関とは共有させていただいていますが、それ以外との連携においては保護者の方からの許可をいただいてから共有しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	4	2	8		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	1	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	7	0	6		・各種マニュアルは入口の下足箱にファイリングしてあります。法に基づいて訓練も実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	8	1	12		・職員は、年2回のアルブラザ合同避難訓練に参加しています。個別療育のため、利用児に対して避難訓練は全員には実施していませんが、療育に災害対応の内容を盛り込む、玄関での避難の心得の啓発を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	2	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	5	1	7		・事故発生時には、マニュアルに基づいて速やかに対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	1	1	1		・なないろでの支援についてさまざまなご意見をいただき、まことにありがとうございます。また、不安な思いをさせている部分があることにつきましては、子ども本人ならびに保護者の皆様にとって安心できる場になるよう、よりよい施設づくりをすすめてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	2	1	0	・成長が見られ、アドバイスをいただけるので、月2回ですが楽しみにしています。 ・先生にみていただいてとてもよかったです。感謝しております。 ・兄弟でみてもらい、1人目を保育園に連れて行ってから、2人目をなないろに連れていくと、開始時間に間に合いません。その時も2人目の時間は50分取って頂けるとありがたいです。	・療育時間につきましては、時間割に基づいて予定を立てています。後の予定を加味しながら可能な限り50分を確保させていただきます。

公表	児童発達支援 事業所における自己評価結果
----	----------------------

事業所名	越前市児童発達支援センターなないろ 専門支援教室				公表日	令和8年3月18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・ 空きスペースを有効活用しつつ、過ごしやすい環境を設定できている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・ 子ども1人に対して、職員が必ず1人配置されている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・ 視覚支援が様々な場所にある ・ 活動場所ごとに壁が仕切られている ・ 段差が少なく広々としている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・ 全ての療育終了後に毎日掃除をしている ・ 子どもに合った机やいすを使用している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・ 遊びたい場所で遊べるように、危険物がないう安全面の徹底	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・ 支援計画のチェック、事例検討、ミーティングでの相談	・ なないろでは第三者評価は実施していません。このご利用者様からの『事業所評価』や、普段いただくご指摘やご意見を業務改善に繋げています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・ 法に基づいて実施している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・ 事例検討やタ方ミーティングでの共有 ・ 氷山モデルを使用して支援方法の見直し、提案を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・ 第三者による外部評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・ 内部勉強会を毎月実施している ・ 外部研修は計画のもと、は各々が参加している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・ なないろHPにて公表している	・ 個別療育のため、活動プログラムの立案は基本的に担当職員が行っています。定期的に相談やミーティング等を行う中で、多職種で連携をしながら支援内容を考えていく場面も多くあります。活動プログラムにご意見やご質問がありましたら、どうぞお気軽にお申し付けください。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・ 子どもと保護者の気持ちをすり合わせ、双方のニーズが反映されるように作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・ 全職員で共有し、意見を出し合っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・ 子育てファイルふくいっ子の基礎調査票によるアセスメントや、日々の療育中の行動観察等により、状況の把握を行っている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・ 「本人支援」「家族支援」「地域連携」の各項目でねらい、支援内容を設定しながら支援を行っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・ ガイドラインをふまえながら目標を設定し、支援内容の構築を図っている	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・多職種の意見を貰う中で、プログラム自体の難易度のつけ方も相談している	<p>・療育時には毎回観察や行動分析によるアセスメントを実施し、活動プログラムに取り入れています。障害特性を踏まえ、大きな流れは変えずに課題を変更するなど、子どもがバニクにならずに活動を進めることができるようにしているケースもあります。疑問のある方は、どうぞお気軽にお申し付けください。</p> <p>・支援終了後には打合せを行っていますが、勤務の都合上それに参加できていない職員がいるのが現状です。改めて共有の場を設けるなど、職員内の連携を強めていきます。</p>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・本人が楽しんで成功体験ができ、かつ様々な経験ができるように組み立てている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・ミーティングで共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・毎日、業務終了時にその日の振り返りを行い、良かった点や悪かった点を確認している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・毎回、療育終了後に振り返りの記録をつけ、それをもとに半年ごとの計画の見直しを行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	・療育担当者が参画し、子どもの状況をアセスメントに基づきながら評価し、外部へ伝えている	<p>・園との連携は、基本的には保育所等訪問支援を通じて行っています。頻度については主に園と相談して決めています。特性理解と、それに基づく関わり方を中心に助言を行っていますが、十分に園に伝えきれていない場合もあるため、研修等を通して職員のスキルアップを図りながら、園と協働してお子さんを支えていく体制を整えていきます。</p> <p>・現在、保育所・認定こども園・幼稚園等と一緒に活動するなどのことは行っておりません。保育所等訪問支援や療育の場を見学してもらうなど、園の職員の方たちとの連携は今後も続けて行っています。</p>
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・地域連携推進マネージャー、相談支援専門員を中心にして、連携の体制を整えている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・園訪問の際に情報共有、相互理解のための話し合いを行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・個別支援計画や基礎調査票を用いながら情報共有を行い、相互理解を図っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	2	・他の事業所と合同で研修を行うなどの取り組みを実施しているが、十分とは言えない。もっと深く連携できるとよい	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	1	・外部研修に参加して知識を深めている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	2	・主に児童発達支援管理責任者が参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・家での困りごとや今の課題について保護者と話す機会がある	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・なないろ便りにて情報を発信している		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・新規契約時に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・療育中にお話を聞いている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・説明を行い、追加点などを聞き反映し、同意を得ている	・「利用者からの声は事業所の質を上げるための最も大事なもの」と考え、真摯に受け止めつつ改善に努めております。少しでも不審な点や疑問がございましたら、何なりとお申し付けください。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・必要に応じて療育外で時間を設け相談対応を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・隔月で『なないろカフェ』を実施している	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	2	・毎月『なないろだより』を作成し、廊下とHPへの掲示を行っている ・Instagramでも情報の発信を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報は同意書に記載されている機関とのみ共有している。また、個人ファイルは鍵付きの書庫にて保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・障害ではないが言語の違いに対して資料を翻訳しながら対応している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・事業によっては窓口を広くし、参加できるようにしている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	・各種マニュアルや指針、計画を策定し、療育室入り口にいつでもだれでも閲覧可能な状態にしてある	・各種マニュアルを設定し、玄関にいつでも閲覧可能な状態で置いてあります。マニュアルの内容について、職員の周知は万全とは言えないので、定期的な確認を実施していきたいと思います。 ・非常災害時の訓練につきましては、複合施設に設置した事業所であるため、他入居団体等と連携した訓練、事業所内での訓練(職員のみ、利用者と一緒に)を引き続き実施していきます。また、非常時にとるべき行動と避難経路につきましては、療育内での定期的な説明等を実施していきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時や療育中に詳しく保護者にお聞きする	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・保護者にも確認しながら、おやつを提供を行っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・月1回の安全点検を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	・ミーティングで共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・年に数回の虐待防止研修を行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1			